第5章　インターフェースの設定

5.1　インターフェース設定メニュー

この章では、パラレル、ネットワークおよびUSBの各インターフェースの設定を変更する方法を示します。
変更できる項目は以下の通りです。

- I/F選択
  HOSTとのインターフェースを選択します。

1. ジドウセンタク	パラレル、ネットワーク、USBの各インターフェースのうち、最初に印刷データを受信したインターフェースを有効にします。 他のインターフェースは無効になります。 印字が終了後、「I/F切り替え時間」で設定された時間が経過すると全てのインターフェースが受信可能になります。 どのインターフェースが有効になった場合でも、ネットワークからプリンターのステータスを確認することができます。
2. パラレル	パラレル・インターフェースからのデータのみを受信できます。
3. USB	USBインターフェースからのデータのみを受信できます。
4. ネットワーク	ネットワーク・インターフェースからのデータのみを受信できます。

- I/F切り替え時間
  「I/F選択」を「ジドウセンタク」に設定した時に、占有されたインターフェースが開放されるまでの時間を設定します。
  切り替え時間は全ての印字が終了してから開始します。印刷不可の場合は時間は停止しています。

● パラレル設定

パラレル・インターフェースのモードを選択します。

1. スタンダード（ECP）　IEEE1284準拠双方向パラレル・インターフェースでECPモードまでをサポートしています。

2. スタンダード（ニブル）　IEEE1284準拠双方向パラレル・インターフェースで、ニブルモードまでをサポートしています。

3. USPC　単方向パラレル・インターフェースです。従来の5577シリーズ（5577−V02/W02）における「スタンダード」と同じになります。

4. コンバージド　PC3270、PC5250等のオンライン・アプリケーションを使用する時、5400エミュレーターを使用する時に選択してください。

● ネットワーク設定

ネットワーク・インターフェースの設定とネットワーク設定値の詳細印刷を行います。

☞ 以下の項目に関しては、『InfoPrint 5577/InfoPrint 5579 ネットワーク設定ガイド』を参照。

1. NW詳細印刷
2. DHCP設定
3. IP アドレス
4. サブネットマスク
5. ゲートウェイアドレス
6. エラー表示
7. NWモニタ

インターフェース設定項目

メニュー項目	選択項目＊	解説
I/F　センタク	ジドウセンタク パラレル USB ネットワーク	データを受信するインターフェースを選択します。 ジドウセンタク : プリンターの電源投入後、最初にデータを受信したインターフェースを有効にします。パラレル・インターフェースが有効になった場合も、ネットワークからプリンターのステータスを確認することができます。 パラレル : パラレル・インターフェースを有効にします。 USB : USBインターフェースを有効にします。 ネットワーク : ネットワーク・インターフェースを有効にします。
I/F　キリカエジカン	5 sec 〜 255 secの範囲で1 sec単位で設定 （初期設定値 : 30 sec）	I/F選択が「自動選択」の場合に、インターフェース切り替え時間を設定します。
パラレル　セッテイ	スタンダード（ECP） スタンダード（ニブル） USPC コンバージド	スタンダード（ECP） : IEEE1284準拠双方向パラレル・インターフェースで、ECPモードまでをサポートします。 スタンダード（ニブル） : IEEE1284準拠双方向パラレル・インターフェースのニブルモードまでをサポートします。 USPC : 単方向パラレル・インターフェースです。 コンバージド : IBM PS/55、5550で使用するためのモードで、PC3270、PC5250等のオンライン・アプリケーションを使用するとき選択します。
ネットワーク　セッテイ	—	詳細に関しては、『InfoPrint 5577/InfoPrint 5579 ネットワーク設定ガイド』を参照してください。
ショキカ	トリヤメ ジッコウ	インターフェースの設定を工場出荷時の値に戻します。

＊ 網かけされている項目が出荷時の初期設定値です。

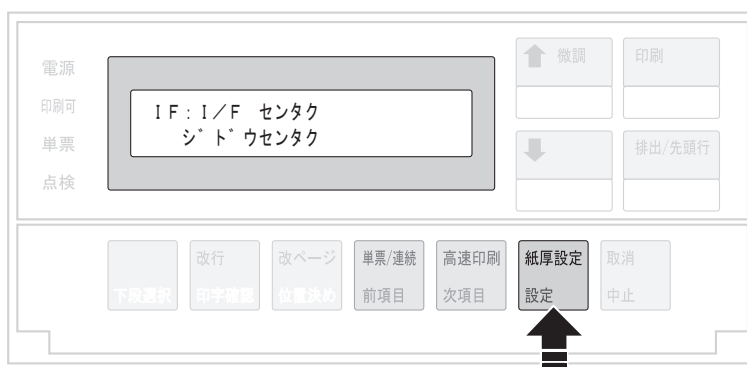
5.2　インターフェース設定値の変更方法

1　印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、下段選択スイッチを押して「ゲダン　キノウ」と表示していることを確認します。

2　次項目あるいは前項目スイッチを押し、「5 インターフェース　セッテイ」を選択し、設定スイッチを押します。

3 インターフェース設定項目（5-3ページ）を参照しながら、次項目あるいは前項目スイッチを押して、変更するモードを選択し、設定スイッチを押します。

4 次項目あるいは前項目スイッチを押し、 インターフェース設定項目を参照しながら項目を選択し、設定スイッチを押します。

初期設定を記憶します。

5 設定値を印刷するときは、「IF : セッテイチ　インサツ」を選択し、設定スイッチを押します。

6 用紙をセットし、印刷スイッチを押します。

I/F設定値を印刷します。印刷形式は次の通りです。
印刷したデータは記録として日付を記入して、本書と共に保管してください。

＊　Ｉ／Ｆ設定値　＊

［共通項目］

Ｉ／Ｆ選択	自動選択
Ｉ／Ｆ切り替え時間	３０秒

［パラレル設定］

パラレル設定	スタンダード（ECP）

［ネットワーク設定］

ＤＨＣＰ設定	無効
ＩＰアドレス	000.000.000.000
サブネットマスク	000.000.000.000
ゲートウェイアドレス	000.000.000.000
エラー表示	無効
ＮＷモニタ	無効

7 **印刷スイッチを押します。**

初期診断テストを実行し、初期設定モードから抜けます。
設定した初期設定値は、電源を切っても消えません。

以上で、初期設定値の変更は終了です。
操作パネル・カバーを閉じてください。

5.3　インターフェース設定値の初期化

1 印刷不可状態（印刷可ランプが消えている）で、操作パネル・カバーを開け、下段選択スイッチを押して「ゲダン　キノウ」を選択します。

2 次項目あるいは前項目スイッチを押して、「5　インターフェース　セッテイ」を選択し、設定スイッチを押します。

3 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「IF：ショキカ」を選択し、設定スイッチを押します。

4 次項目あるいは前項目スイッチを押して、「ジッコウ」を選択（初期化を中止する場合は「トリヤメ」を選択）し、設定スイッチを押します。

初期化が開始されます。

5 「IF：ショキカ」の画面を終了するには、印刷スイッチを押します。
初期診断テストが実行されます。

この初期化はインターフェース設定値にのみ適用されます。